



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 シンニッタン
 コード番号 6319 URL <http://snt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 044-200-7812

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,143	10.8	192	51.7	284	39.5	164	46.2
2019年3月期第1四半期	5,762	13.8	398	6.4	470	3.7	304	6.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 71百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 80百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	3.34	
2019年3月期第1四半期	6.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	38,525	30,475	78.6
2019年3月期	38,975	30,900	78.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 30,300百万円 2019年3月期 30,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定となっております。配当予想の開示が可能になった時点で速やかに開示いたします。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,400	9.3	550	36.4	700	32.1	850	28.3	17.29
通期	21,100	7.3	1,150	33.2	1,450	27.5	1,350	2.5	27.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	55,000,000 株	2019年3月期	55,000,000 株
2020年3月期1Q	5,849,802 株	2019年3月期	5,849,742 株
2020年3月期1Q	49,150,228 株	2019年3月期1Q	49,142,853 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下「当第1四半期」という。）におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いているものの、個人消費や雇用環境他の改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、わが国をとりまく世界経済は、全体としては緩やかな回復基調が続きましたが、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題の長期化など世界経済に与える不確実性の高まりにより、引続き先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況下、当社とその連結企業（以下「当社グループ」という。）の当第1四半期の売上高は、鍛造事業で主要取引先のグローバル販売の低迷のあおりを受けたことや物流事業で前期業績に寄与した取引が終息したこともあり、前年同四半期比6億19百万円減少の51億43百万円となりました。利益面は、売上高の減少により、営業利益が前年同四半期比2億5百万円減少の1億92百万円、経常利益は、前年同四半期比1億85百万円減少の2億84百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比1億40百万円減少の1億64百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社グループの主要事業である鍛造事業は、売上高は前年同四半期比2億48百万円減少の44億95百万円、営業利益は売上高の減少により前年同四半期比1億9百万円減少の2億57百万円となりました。各分野の状況は以下のとおりです。

① 自動車産業向け

鍛造品の主要マーケットである国内自動車産業は海外生産拡大による現地調達化の基調が続いており、国内自動車産業向けの鍛造品は引続き伸び悩んでおります。また、当社主力の大型部品の引き合いは依然として強くない状況が続き、前期好調であったSUV車向けも低位で推移しました。

海外子会社の市場であるタイ国の自動車産業においては、同国内での自動車生産台数は堅調に推移しましたが、同社が得意としている分野においては、自動車産業でのグローバル販売低迷の影響を受け、当社鍛造品も減少いたしました。

② 建設機械産業向け

建設機械産業においては、中国市場他における建設機械需要減速があったものの、北米やオセアニアにおいて鉱山機械需要が堅調であったことから、関連する鍛造部品も堅調に推移しました。

仮設機材の販売・リースを行う建機事業は、首都圏での再開発事業や社会インフラの改修整備等から、仮設機材の需要は引続きあるものの、機材保有量の高止まりや建設関連職人の人手不足問題ならびに人件費の高騰による建設工事の一部見直し等で着工が弱含みで推移した事で、関連する仮設機材の販売・リースも低位で推移しましたが、一部の仮設機材の販売が増加したこともあり、売上高は前年同四半期比79百万円増加の4億78百万円となりました。営業利益は、リース部門の売上高低調の影響を受け、前年同四半期比28百万円減少の12百万円に止まりました。

金属製パレットの製造販売を中心とした物流事業は、前期業績に寄与した取引が終息したことと主要取引先のグローバル販売の低迷のあおりを受けたことから、売上高は前年同四半期比4億49百万円減少の1億26百万円、営業利益は売上高の低迷により5百万円の営業損失となりました。

不動産事業の売上高は、前年同四半期に比べほぼ横這いの42百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億57百万円減少し、202億76百万円となりました。これは、配当金の支払いもあり現金及び預金が1億32百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億92百万円減少し、182億48百万円となりました。これは、国内鍛造工場の改修工事ならびに鍛造機の改修等により有形固定資産が1億39百万円増加しましたが、株価下落により投資有価証券が4億28百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ4億50百万円減少し、385億25百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億39百万円増加し、68億52百万円となりました。これは、短期借入金1億円、賞与引当金が51百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億64百万円減少し、11億97百万円となりました。これは、株式時価下落による投資有価証券の減少に伴い繰延税金負債が1億54百万円減少したことなどによります。

なお、前連結会計年度末に計上しておりました役員退職慰労引当金は、同制度の廃止ならびに6月27日に開催した定時株主総会にて役員退職慰労金打切支給について決議されたことにより、長期未払金に振替を行っております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億25百万円減少し、304億75百万円となりました。これは、タイ・パーツ高により為替換算調整勘定が1億98百万円増加しましたが、配当金支払で剰余金が3億28百万円減少したことと、投資有価証券の減少によりその他有価証券評価差額金が2億97百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より1億32百万円減少し、112億7百万円となりました。

各活動のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益2億84百万円計上ならびに減価償却を3億円実施したことにより、5億55百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、有形固定資産の取得等により、3億85百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、1億円の短期借入金増加がありましたが、配当金の支払い4億92百万円もあり、3億96百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度の連結業績予想については、2019年5月15日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,340,051	11,207,355
受取手形及び売掛金	3,447,865	3,392,662
電子記録債権	1,061,682	1,096,890
製品	1,891,709	1,808,827
半製品	87,665	99,158
仕掛品	1,095,861	1,067,310
原材料及び貯蔵品	869,581	905,326
その他	640,613	699,760
貸倒引当金	△348	△350
流動資産合計	20,434,683	20,276,940
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,240,675	6,246,398
その他(純額)	6,756,941	6,890,269
有形固定資産合計	12,997,617	13,136,667
無形固定資産		
	55,567	52,748
投資その他の資産		
投資有価証券	5,311,189	4,882,728
その他	188,995	188,613
貸倒引当金	△12,080	△12,080
投資その他の資産合計	5,488,105	5,059,262
固定資産合計	18,541,289	18,248,678
資産合計	38,975,973	38,525,619

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,556,763	3,540,540
電子記録債務	1,126,695	1,120,509
短期借入金	1,050,000	1,150,000
未払法人税等	193,010	220,870
賞与引当金	164,553	216,425
その他	622,657	604,636
流動負債合計	6,713,680	6,852,982
固定負債		
役員退職慰労引当金	100,033	—
環境対策引当金	198,230	198,230
株式給付引当金	24,722	24,722
退職給付に係る負債	484,339	483,791
その他	554,349	490,331
固定負債合計	1,361,674	1,197,075
負債合計	8,075,355	8,050,057
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,256,723	7,256,723
資本剰余金	6,660,886	6,660,886
利益剰余金	17,047,432	16,718,973
自己株式	△1,802,119	△1,802,140
株主資本合計	29,162,922	28,834,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,402,438	1,104,553
為替換算調整勘定	162,590	361,080
その他の包括利益累計額合計	1,565,029	1,465,633
非支配株主持分	172,665	175,484
純資産合計	30,900,617	30,475,561
負債純資産合計	38,975,973	38,525,619

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,762,706	5,143,181
売上原価	4,935,302	4,549,669
売上総利益	827,404	593,511
販売費及び一般管理費		
従業員給料	111,124	116,184
運賃	105,737	89,112
その他	211,965	195,569
販売費及び一般管理費合計	428,827	400,866
営業利益	398,577	192,644
営業外収益		
受取利息	4,130	5,079
受取配当金	64,112	63,163
その他	28,369	32,977
営業外収益合計	96,612	101,220
営業外費用		
支払利息	2,370	2,159
金型廃棄損	11,010	6,636
その他	11,119	105
営業外費用合計	24,500	8,901
経常利益	470,689	284,963
税金等調整前四半期純利益	470,689	284,963
法人税、住民税及び事業税	183,336	141,592
法人税等調整額	△21,099	△23,661
法人税等合計	162,236	117,930
四半期純利益	308,453	167,032
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	304,743	164,029
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,709	3,003

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△246,007	△297,884
為替換算調整勘定	△142,582	202,539
その他の包括利益合計	△388,590	△95,345
四半期包括利益	△80,137	71,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△80,994	64,633
非支配株主に係る四半期包括利益	857	7,054

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	470,689	284,963
減価償却費	311,259	300,100
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△37	2
受取利息及び受取配当金	△68,243	△68,243
支払利息	2,370	2,159
賞与引当金の増減額 (△は減少)	47,313	51,871
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△26,516	△548
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,347	2,411
売上債権の増減額 (△は増加)	267,724	47,852
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,644	67,049
仕入債務の増減額 (△は減少)	△107,240	△48,112
その他	11,221	△88,919
小計	909,245	550,588
利息及び配当金の受取額	68,243	68,247
利息の支払額	△2,370	△2,159
法人税等の支払額	△146,381	△61,045
営業活動によるキャッシュ・フロー	828,737	555,631
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△165,792	△385,754
無形固定資産の取得による支出	△966	—
投資有価証券の取得による支出	△5,150	△149
その他	447	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,461	△385,904
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	100,000
配当金の支払額	△418,616	△492,488
非支配株主への配当金の支払額	△4,218	△4,234
自己株式の取得による支出	△58	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△422,893	△396,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57,489	94,321
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	176,893	△132,696
現金及び現金同等物の期首残高	11,091,620	11,340,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,268,513	11,207,355

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

法人税等の処理は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,744,409	399,405	576,210	42,681	5,762,706
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,744,409	399,405	576,210	42,681	5,762,706
セグメント利益	366,390	40,263	63,636	22,552	492,842

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	492,842
全社費用(注)	△ 94,265
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	398,577

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,495,615	478,676	126,284	42,604	5,143,181
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,495,615	478,676	126,284	42,604	5,143,181
セグメント利益又は損失(△)	257,351	12,066	△ 5,320	22,945	287,043

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	287,043
全社費用(注)	△ 94,398
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	192,644

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。